

全国障害者スポーツ大会



頑張れ田下さん！ めざせ金メダル！

第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいた大会」(10/11～13大分県開催)に、^{たしたみちあき}田下倫明さん(一宮町福野)が、昨年の秋田大会に続き、陸上50mの種目で兵庫県代表として出場されます。

これは、「第2回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会(5/24伊丹市)」の記録によるもので、現在、本番に向けトレーニングを積んでおられます。

田下さんの大会での活躍に期待します。

(一宮支部 波多野好則)



おおいた大会に
“田下旋風”を！

社協の災害救援マニュアル

携帯版を全職員に

昨年度、宍粟市社協では「災害救援マニュアル」を策定しました。大規模災害に備え、社協はどう対応すべきか。「災害救援マニュアル」は、その手引書となるものです。A4版64ページの初版は200部を作成し、社協の役職員および関係機関に配布しました。

このたび、この「マニュアル」をコンパクトにまとめた職員用携帯版を作成します。「マニュアル」を常時携帯することで、職員全員が日ごろから「危機管理意識」を持ち、ふだんの地域福祉活動への取り組みが災害時に活かされるよう、自覚することをめざしています。

(本部 可藤和成)



地域福祉の現場を学ぶ

日頃、大学のキャンパスで福祉を学ぶ学生にとって、実際の福祉活動の現場を体験することはとても重要なことです。8月の約1月間、宍粟市社協で「社会福祉援助技術現場実習」に取り組んだ学生たちの声を紹介します。

流通科学大学

3年 藤本奈菜子

私はこの実習を通して、社協が小地域福祉活動やボランティア活動等を通して地域の方がより良く生活できる様に活動していることを学びました。また、地域の皆さんからの信頼や支えがないと社協の業務は成り立たないことを強く感じました。大学では学べないこの貴重な経験と社協の皆さんへの感謝の気持ちを大切にしていきます。



子育てサロンにて

流通科学大学

3年 武藤 裕作

宍粟市は初めてで不安でしたが、社協職員の皆さんに親切に指導していただき、多方面の地域福祉に関わる事業を体験し、大変有意義な実習となりました。将来は、福祉関連の職業に就きたいと考えているため、この実習で得たことを、活かしていきたいと思っています。職員の皆様には、実習を受け入れていただき大変感謝しています。誠にありがとうございました。



ふれあい喫茶(嶋田)にて